

平成22年度多可町教育委員会事務事業評価票

こころ豊かで(優しさと思いやり)、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり		
施策名	学びあい、支えあう「協働」の環境づくり	
所管	教育委員会 子ども未来課 ・ 教育総務課	備考
施策目標 (目指すべき状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題に対して行う社会教育の必要性は非常に高く、住民ニーズも高い。また、町づくりや人づくりにもつながる重要な教育である。職員数減少や財政面への配慮をしながら、社会教育事業を効率よく推進していくために、事業の統合連携や事務の効率化を図るとともに地域住民が主体的に参画できる仕組みが望まれる。 ・青少年育成センター所長に警察OBを採用されセンター機能体制が充実する中、子どもが安心して育つ環境づくりや安心して暮らせるよう、防犯・安全教育の徹底とともに、地域住民との連携の向上に努める。また、ネットや携帯電話による青少年のトラブルや犯罪被害を未然に防ぐように早期発見、早期解消するための監視活動が出来る仕組みが望まれる。 	(社会教育) (青少年育成センター)
施策を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の少子高齢化や核家族化、情報化などの問題は、多可町においても例外ではなく、子どもたちの成長にとってマイナスの面も出てきている。また、学校教育の担う役割の多様化や、共働き家庭の増加による子育てへの負担の増大、さらにそれを側面から支援すべき地域コミュニティーが十分に機能していない現状がある。社会教育による学校、家庭、地域の連携協力体制の充実が喫緊の課題となっている。 ・子どもが被害者となる誘拐事件や連れ去り事件、いたづら等が各地で発生している。また、声かけ、つきまとい、チカン等の子どもを対象にした事案も多く発生しており、学校施設内及び登下校時の安全確保は地域の緊急課題となっている。 <p style="text-align: center;">(不審者等の事案件数:平成20年度 14件、平成21年度 7件、平成22年度 1件)</p>	(社会教育) (青少年育成センター)
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育の出発点である家庭教育については、親業講座や、家庭の日と関連づけた家族参加型の体験事業等を実施し、子育てへの意識の高揚や、家族のコミュニケーションを図る良い機会になっている。また、子どもたちに豊かな人間性や社会性を身に付けさせるため、学校や地域住民と連携した体験活動等を実施している。 ・年間を通じて、安全教育や見守り、安全パトロール員による学校園施設内や周辺及び通学路公園等のパトロールを実施し犯罪の抑止効果が図れている。 	(社会教育) (青少年育成センター)
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域住民の連携の強化や、学びが循環する生涯学習社会の仕組みの充実を図り、町民誰もが子育てに参画できる体制づくりを進めていく必要がある。 ・子どもが安心して暮らすことができる環境をつくるため、地域ぐるみでの挨拶運動の展開や見守り体制を確立し、警察との連携を強化し、犯罪発生を抑止力を高める。 	(社会教育) (青少年育成センター)
講評	IV- 1 継続しつつ、さらなる工夫をされたい。 IV- 2 統合に向けて検討すべきである。 IV- 3 今後とも現状を維持しつつ、さらなる事業改善を図られたい。 IV- 4 現状のまま継続されたい。 IV- 5 今後とも現状を維持しつつ、さらなる事業改善を図られたい。 IV- 6 今後とも適切な維持管理を行われたい。	

平成22年度多可町教育委員会事務事業評価票

施策を構成する事務事業の状況

事務事業名	経費の概算(千円)		自己 評価	評価委員 意見	担当課・所管
	H21	H22			
IV - 1 PTCA事業	1,042	939	3	妥当である	こども未来課
IV - 2 芸能フェスタ事業	1,853	1,030	3	妥当である	こども未来課
IV - 3 社会教育推進事業	42,323	27,025	3	妥当である	こども未来課
IV - 4 青少年育成センター事業	5,180	4,401	3	妥当である	こども未来課
IV - 5 青少年健全育成事業	10,781	13,313	4	妥当である	こども未来課
IV - 6 中央公民館管理運営事業	13,547	10,710	3	妥当である	教育総務課

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。